



撮影:萩原美寛(右下以外)

白石智慧 「こたえはこうさするちえっくがらのように」

布(ツイル)、糸、ファスナー／H150×W300mm

13cm×13cmチェック柄のデザインパターンを3mの布に印刷し、ワンピース、ネクタイ、ハンカチなどを制作。自らが一度身につけたものをもう一度展開して一枚の布に戻す行為を行い、自身が4年間通い続けた校舎の中庭に展示した。パターンとして印刷した「アンチオトナ」という言葉は、オトナという偶像、「当たり前」という、空気のように流れる不道徳への対抗であり、自分の軸を忘れないための支えでもある。環境に流され自分の軸を見失わないように、交差してもどかしい結論の出ない思いを言語化し、衣服というもう一つの身体に、その思いを委ねた。



撮影:萩原美寛

林 恵美 「SOREZORE」

プロジェクト

東日本大震災での自らの経験をもとに「日常生活でも災害時にも場面を問わず着ることのできる服」として発展させたトレーナーの企画と提案を行った。

「服」として求められるデザイン性や機能性だけでなく、日常生活と地続きになって存在する、これから起こるかもしれない災害への意識の向上や減災も目的とし、企画意図を伝えるためのキービジュアルや、災害時の衣服の活用法を明示したパンフレット等の広報物の制作も行った。